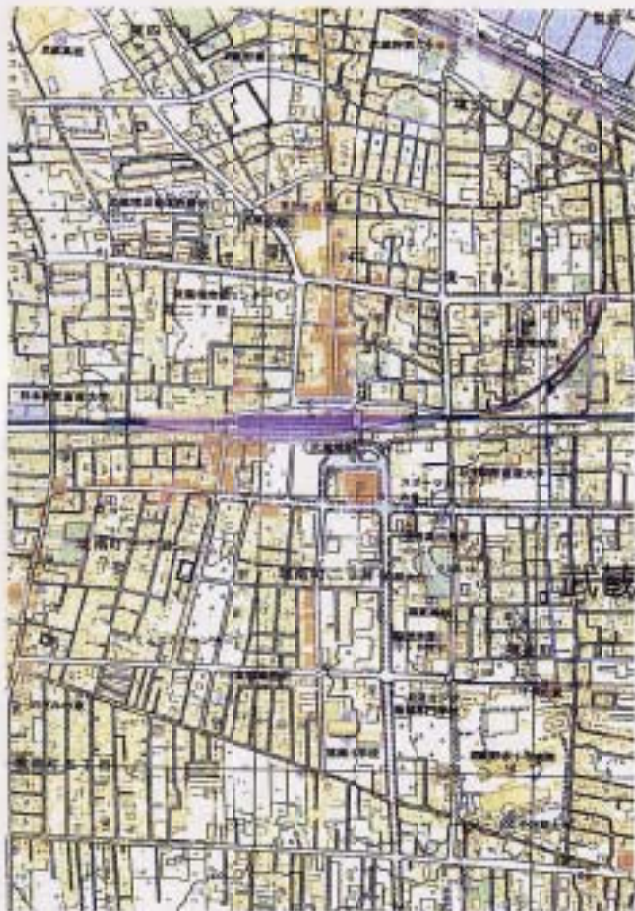


武蔵境駅舎デザインイメージ



武蔵境駅デザイン提案

武蔵境駅概況

- ・明治における甲武鉄道の開通から続く歴史のある駅。
- ・武蔵野の住宅街を背後に控える街並み。
- ・西武多摩川線との乗換駅



・北口

商店街により、人間味あふれる賑わいを呈しながらも、再開発事業により、未来に向け徐々に様相が変貌しつつある環境。



・南口

駅前のケヤキの大樹が木陰を作り、緑豊かな環境の中、大型商業店舗が隣接する。農業試験場跡地に再開発が進むことにより、より公園的なアメニティ空間となる。



武蔵野市都市マスタープランより

武蔵境地区街づくり方針目標

- ・武蔵野の自然と文化と生かした未来を開くまちづくり
- ・人と人とのつながりを大切にした生活感あふれるまちづくり
- ・安全で安心に暮らせる人にやさしいまちづくり

コンセプト

武蔵野の自然と人々が
親しみをもってつながる空間



建築のポキャブラリー

■ 波型大屋根形式の上家

- ・武蔵野の緑の木々とそこを駆け抜ける風をイメージさせる形態。
- ・リニアな指向性の強い高架駅にあって、縦方向の広がり、形状の連続的变化による通過時のダイナミックな動き。
- ・駅の外部及びホーム上空間において、駅改札方向への広がりにより、駅の改札の位置を形態で認知できる形状。
- ・JRと西武を分断せず、駅として一体となった形状のデザイン

■ 高架橋のリニアな空間を包むポルティコ(列柱)空間。

- ・武蔵野の雑木林の木々からの引用
- ・周辺環境が駅と街の境界線で溶け合う中間領域を形成し、人と人とのつながりを演出する。
- ・北側は防風壁を兼ね、ホーム階までの吹き抜け空間を形成

境駅北口イメージ



建築のポキャブラリー2

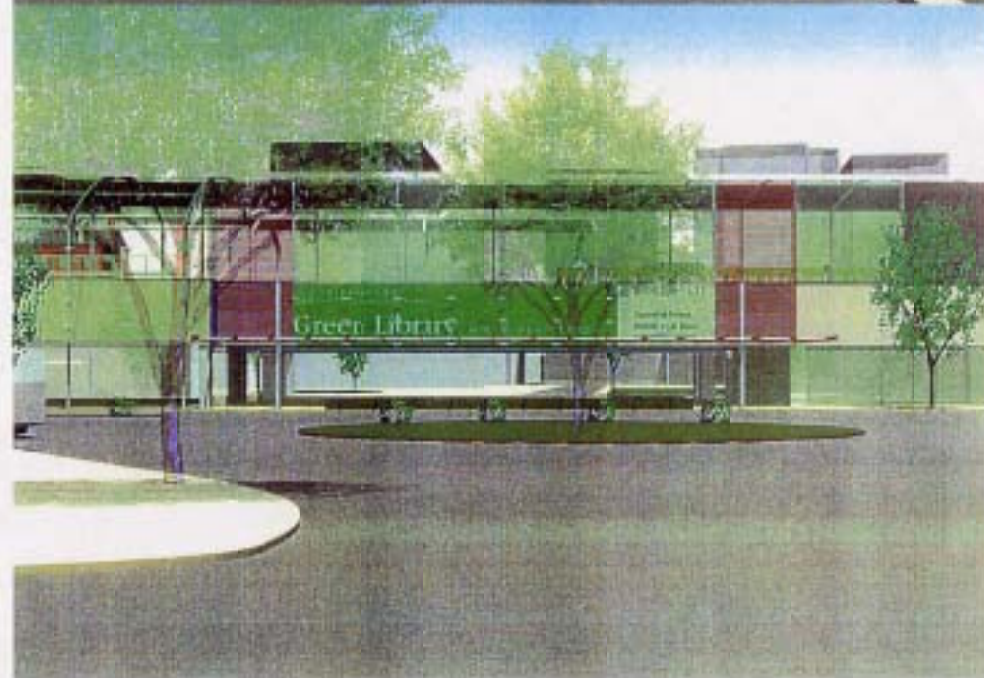
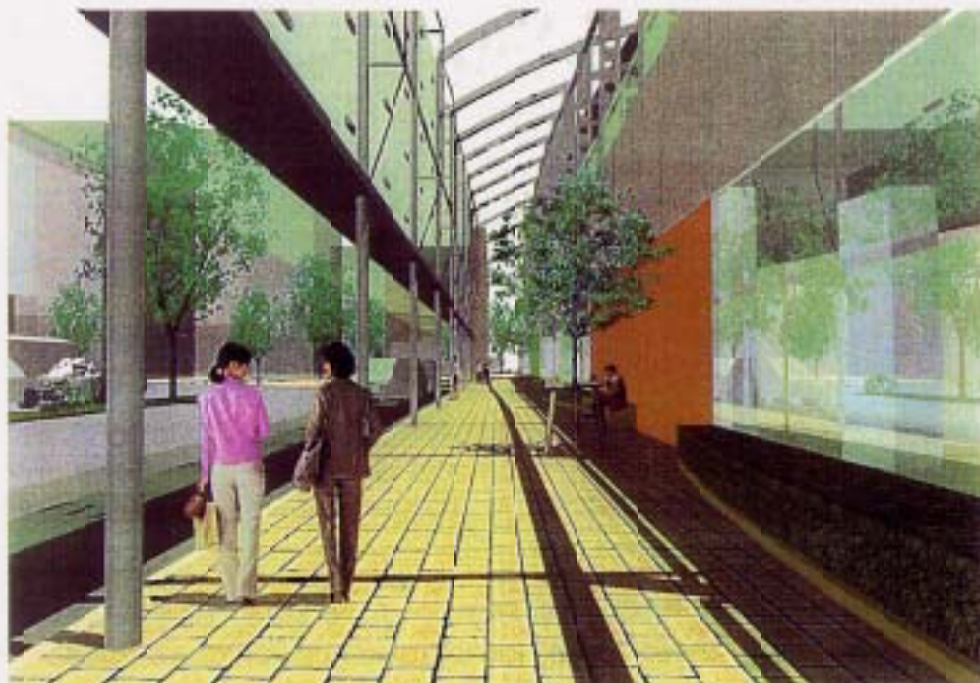
■駅の「顔」

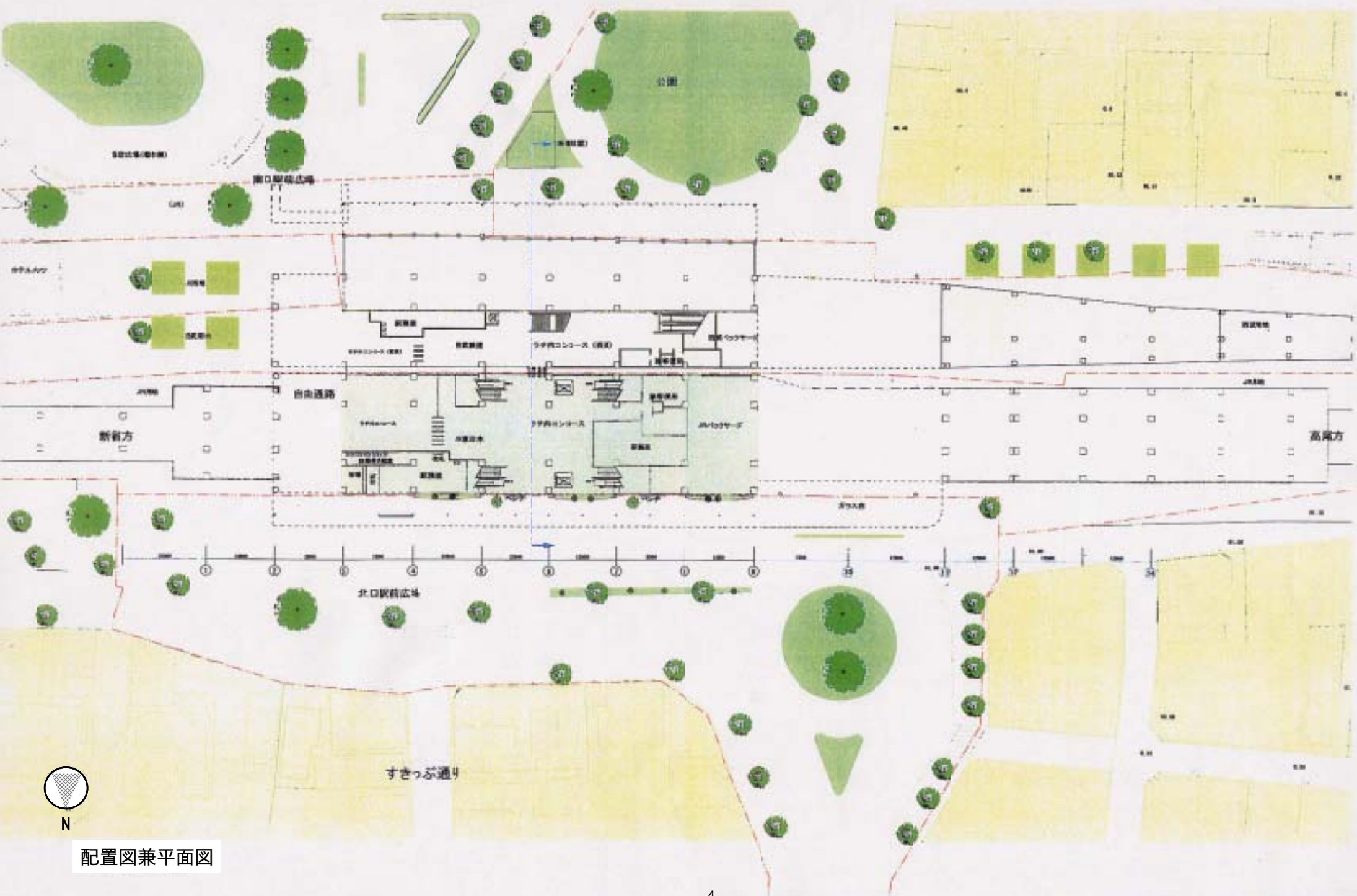
- ・従来の軸線である商店街「すきっぷ通り」から見た駅の「顔」
- ・再開発で「カルチャーモール」と位置付けられた都市計画道路からの「顔」

街の軸線からずれている駅入口を建築の形状で誘導するとともに、都市計画道路からの見えについても駅として認知できる工夫をする。

高尾方歩行者ブロードウェイの上部高架橋はガラススキンの内側に通常時はモノグラム掲示、イベント時などは街の掲示を掲げられるようにし、カルチャーモールとの連続性を確保する。

境駅北口イメージ





配置図兼平面図



駅舎北側立面图

